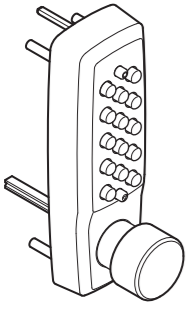
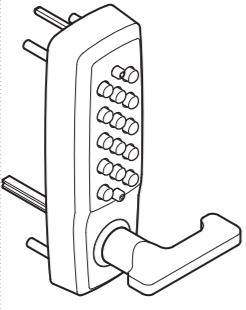
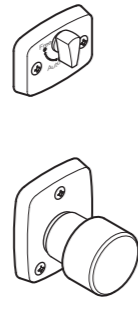
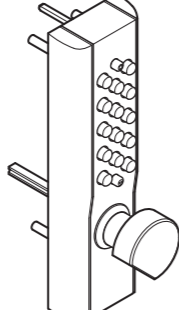
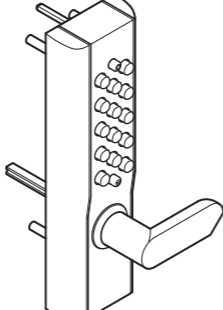
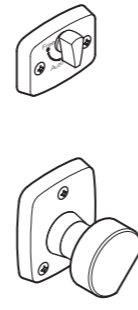
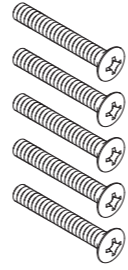
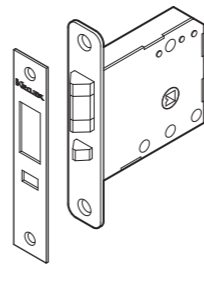
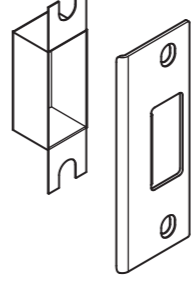





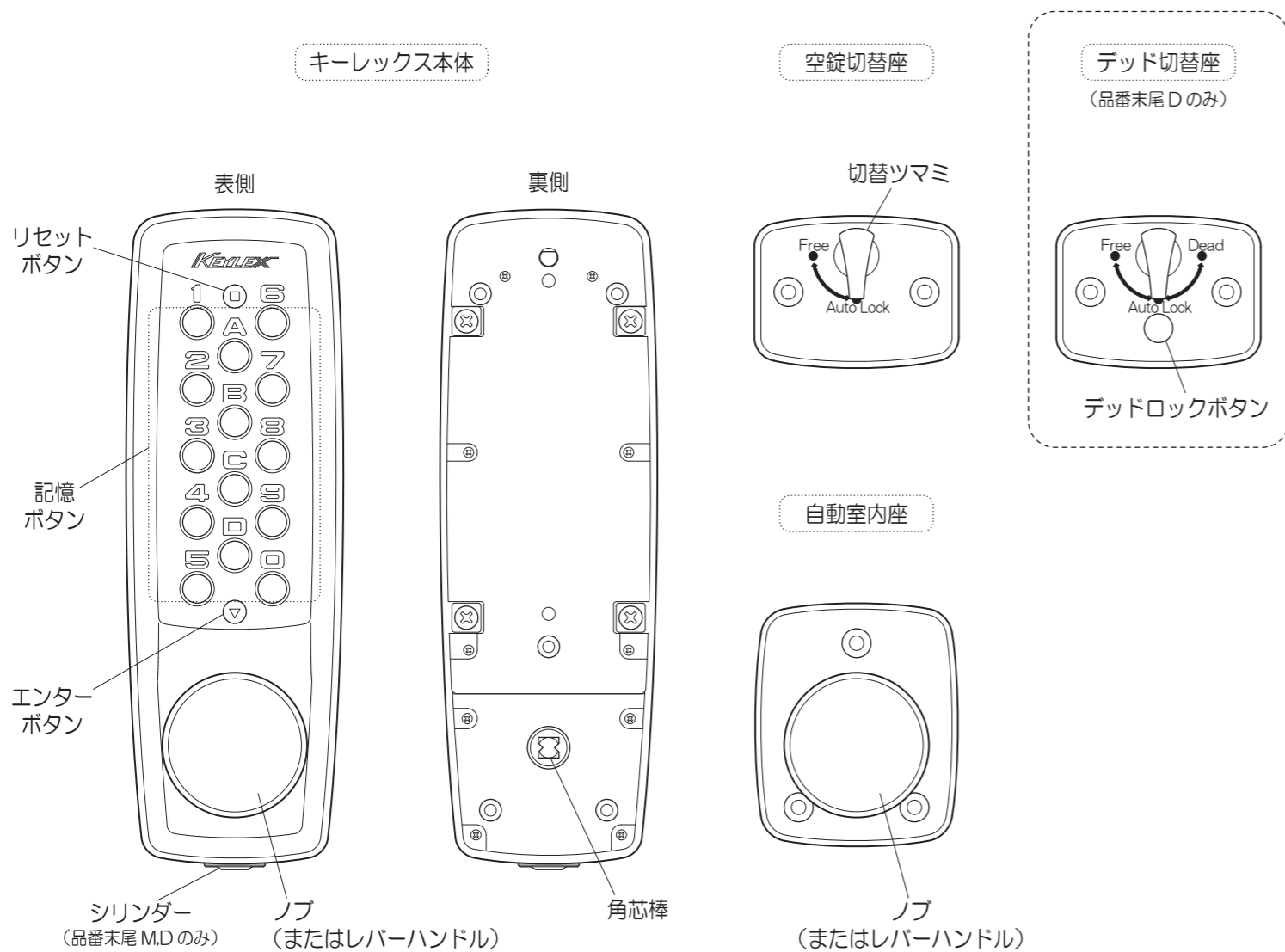


このたびはNAGASAWA 製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
 製品を正しく施工していただくために、本説明書の内容をご確認ください。
 引渡し時に、別紙取付説明書（お施主様向）を、お施主様へお渡しください。
 締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。

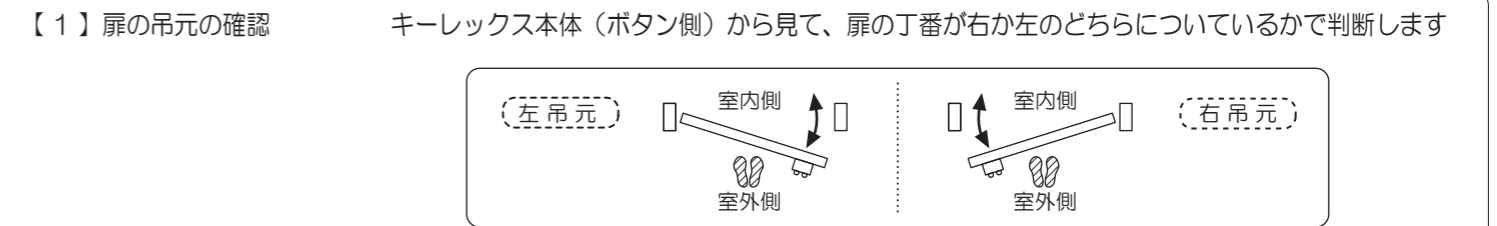
梱包内容一覧・表を参照のうえ、部品の有無をご確認ください

 ① KL 22403(M,D) 本体 1	 ① KL 22423(M,D) 本体 1	 ② KL2100 室内座 (各仕様対応) 1	 ① KL 22603(M,D) 本体 1	 ① KL 22623(M,D) 本体 1	 ② KL1100 室内座 (各仕様対応) 1	 ③ 本体固定ねじ 長さ 35 mm 5	 ④ ARS 錠 set 1	 ⑤ 受座 set 1	 ⑥ 錠・受座取付ねじ 長さ 25 mm 4	 ⑦ 取付説明書 set 1	 ⑧ キー (品番末尾 M,D の ⑥ に同梱) 2
---	--	--	--	--	--	---	---	--	---	---	--

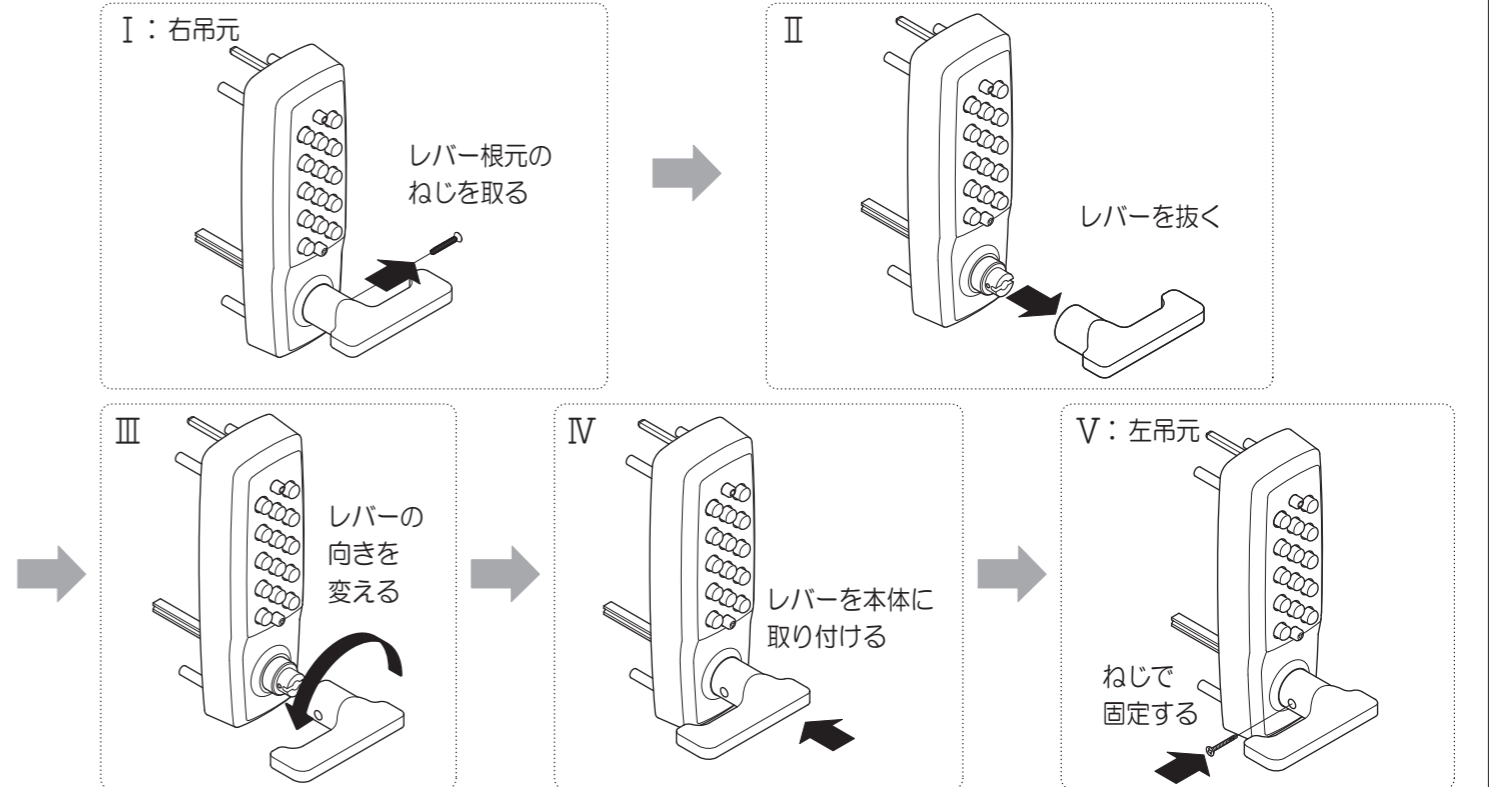
1 各部の名前： キーレックス 2100 での説明ですが、キーレックス 1100 も同様です



2 取付前の準備： 7 作動確認が終わるまで、扉は閉めないでください（クサビ等で扉を固定するとよい）

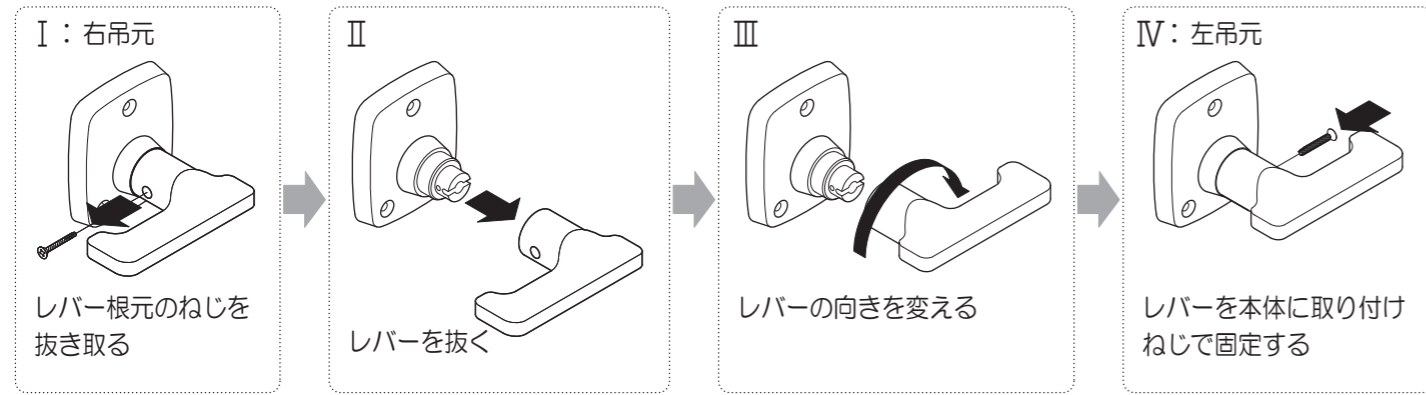


【2】キーレックス本体の吊元対応 レバータイプの KL は左吊元時にレバーハンドルの向きを変える必要があります
 工場出荷時は右吊元位置に取り付けてあります
 左吊元時は、キーレックス本体と自動室内座のレバーハンドルの向きを変え固定します



【3】自動室内座の吊元対応

自動室内座も左吊元時はレバーハンドルの向きを変えます



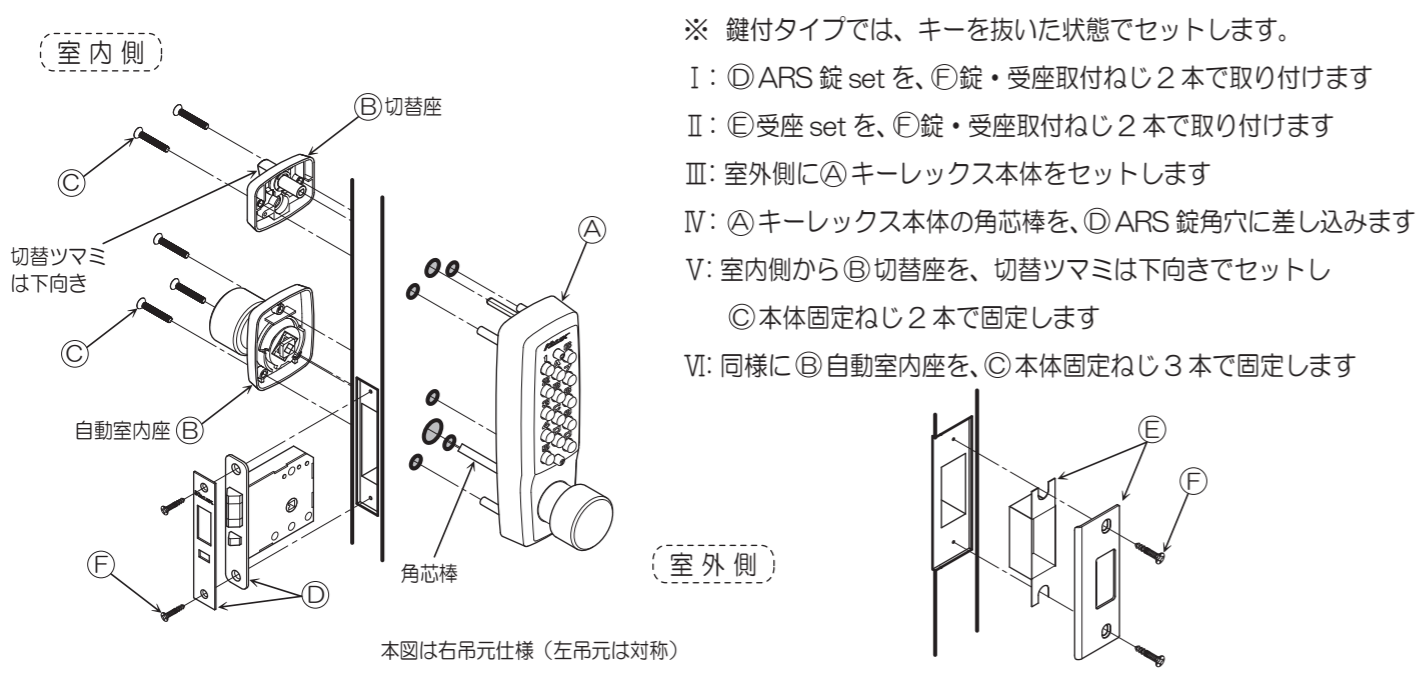
3 扉への取り付け穴加工

Ⓐキーレックス本体・ⒺARS 錠 set・Ⓕ受座 set の取り付け穴加工をします（別紙切欠図参照）

4 記憶番号の確認

Ⓐキーレックス本体にセットされている記憶番号を確認します。記憶番号を変更するときは、ここでおこないます
詳しくは取扱説明書の『記憶番号の変更手順』をご覧ください

5 ARS 錠・受座・キーレックス 2100 (1100) の取り付け



6 作動確認： レバーハンドルが作動しない場合は、②③④⑤をもう一度確認してください

室内側 施錠：①扉を閉めると、自動で施錠されます（Auto Lock 時）
解錠：①ノブ（レバー）操作で解錠できます

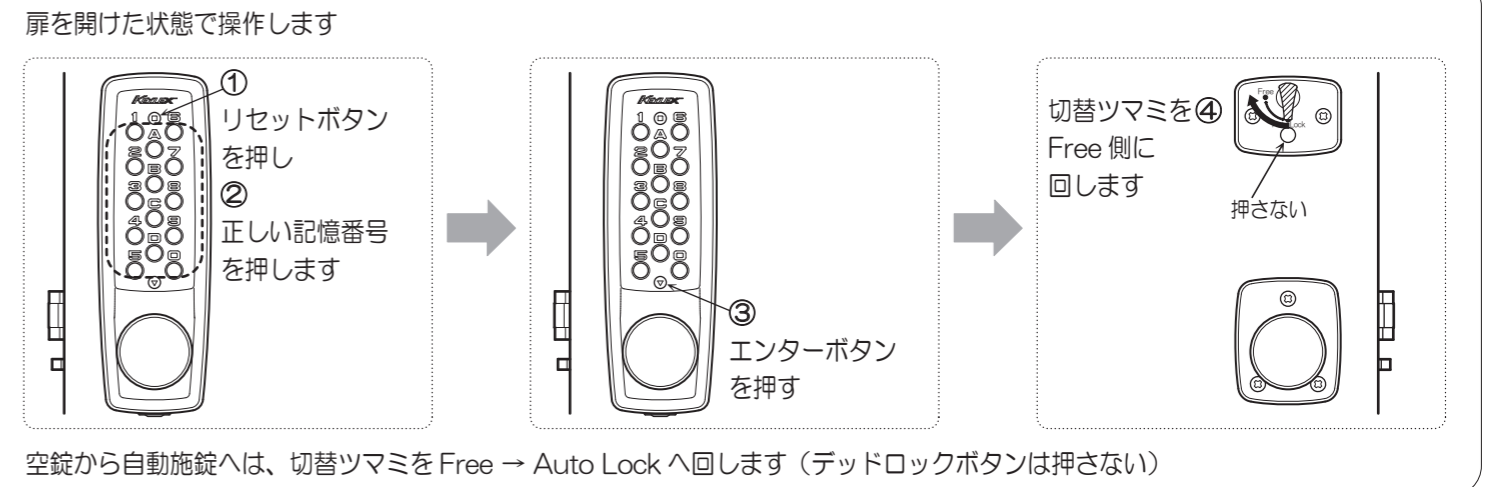
室外側 施錠：①扉を閉めると自動で施錠されます（Auto Lock 時）
解錠：①リセットボタンを押し、②正しい記憶番号を押します
③エンターボタンを押し、④ノブ（レバー）操作で解錠できます



鍵付タイプ（品番末尾 M,D）の場合は、ボタン操作の代わりに、キー操作でも解錠できます

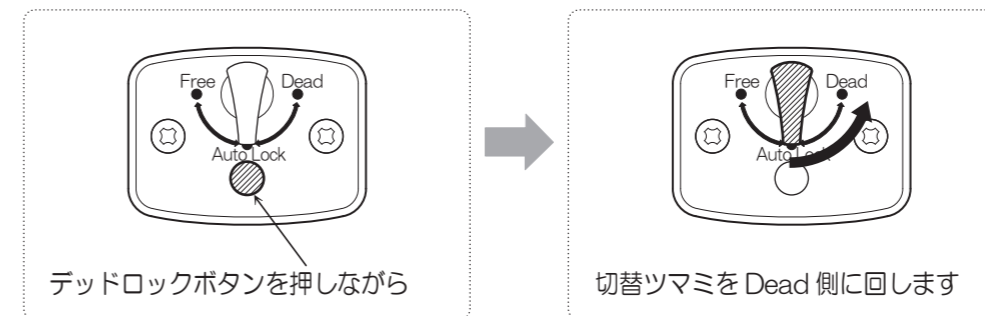
解錠：①シリンダーにキーを入れて回したまま、ノブ（レバー）操作で扉を開けます

7 空錠への切替： 自動施錠から、扉を閉めても施錠しない状態【空錠】にすることができます（Auto Lock から Free）



8 デッドロック機能： 解錠をキー操作だけに切り替えられる機能です

デッドロックボタンが付いているキーレックスの機能です。記憶ボタンによる解錠機能をロック【使用不可能】にすることで解錠できる人員を限定でき、出入りを制限したい場所などに有効です



デッドロックから自動施錠へは、切替ツマミを Dead → Auto Lock へ回します（デッドロックボタンは押さない）



www.nagasawa-mfg.co.jp

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032

大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 06-6783-5092